

平成17年12月10日
農 林 水 産 省

牛海綿状脳症（BSE）確定診断の結果について

平成17年12月8日に、北海道で実施したBSEの農場サーベイランスのエライザ検査で陽性となった下記の乳牛1頭について、（独）農業・生物系特定産業技術研究機構動物衛生研究所において確定検査を実施したところ、ウエスタンブロット法で陽性となりました。

この結果について、食料・農業・農村政策審議会消費・安全分科会家畜衛生部会プリオン病小委員会の委員により協議を行った結果、BSEであるとの結論を得ましたのでお知らせします。

なお、この牛は、平成13年10月の肉骨粉等の飼料原料の法的な給与規制が開始された以前に生まれた牛です。

記

品 種 ： ホルスタイン種

性 別 ： 雌

生年月日：平成12年2月13日

月 齢 ： 69か月齢

飼養地 ： 北海道千歳市

エライザ検査実施日 ： 平成17年12月8日

エライザ検査実施機関 ： 北海道石狩家畜保健衛生所

確定検査実施機関 ： （独）農業・生物系特定産業技術研究機構動物衛生研究所

参考資料

21例目BSE患畜の検査結果（別紙）

【報道機関へのお願い】

当該牛に係る地域に対する取材には、十分な配慮をお願いします。

- ・ この牛の肉、内臓等、当該牛に由来するものは、焼却処分されるため、食用として出回ることはなく、飼料に利用されることもありません。

連絡先 農林水産省消費・安全局

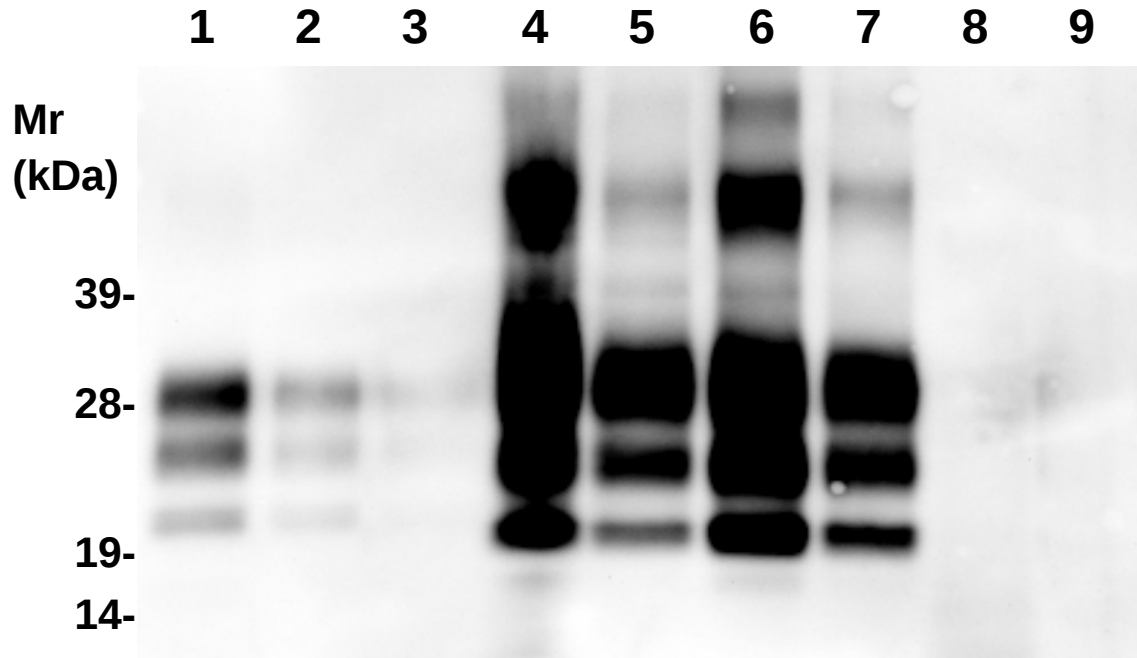
電 話：03-3502-8111（代表）

担当者：動物衛生課

長野（内線3202）、鈴木（内線3223）

03-3502-8292（直通）

2 1 例目BSE患畜のWB結果



1. Mouse control (6.4 μ g/lane)
2. Mouse control (1.6 μ g/lane)
3. Mouse control (0.4 μ g/lane)
4. BSE UK (5 mg/lane)
5. BSE UK (1 mg/lane)
6. Ishikari 1 (1 mg/lane)
7. Ishikari 1 (0.2 mg/lane)
8. Normal cattle (5 mg/lane)
9. Normal cattle (1 mg/lane)

露出時間: 3min

抗体: T2 (1:5000)

1-3列: マウススクレイビー陽性対照
4, 5列: BSE牛陽性対照
6, 7列: 被検体
8, 9列: 正常牛陰性対照

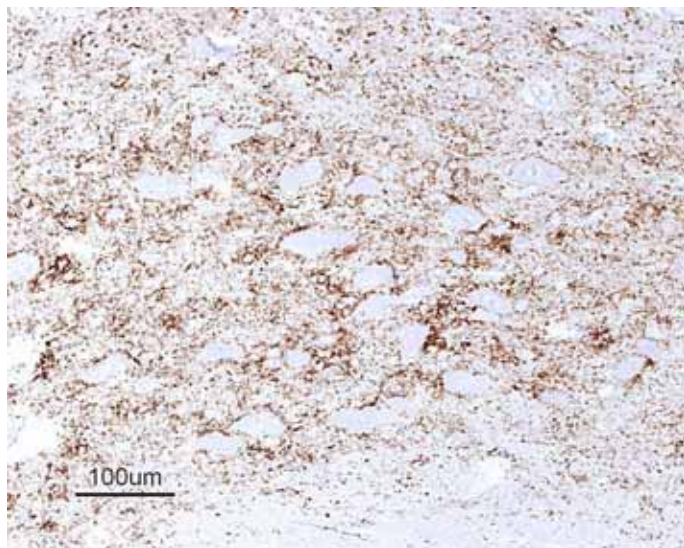
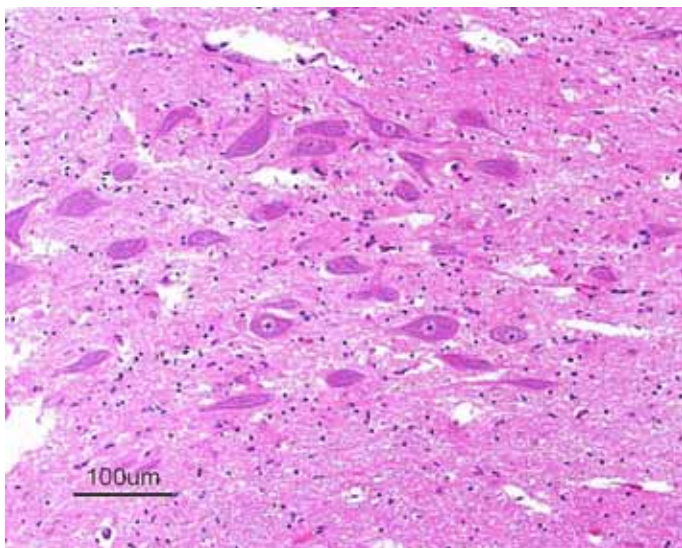
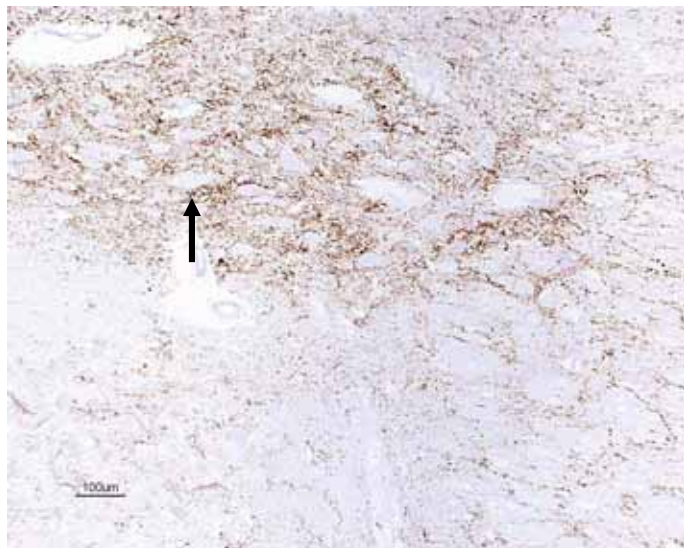
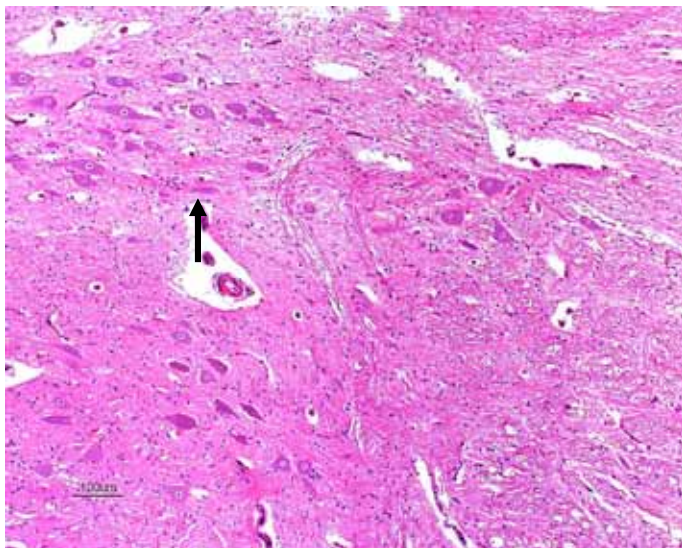
検査機関: (独)動物衛生研究所

(参考)ELISA検査結果

ELISA値: 1回目 2.408 (cut off値 0.167)
2回目 2.385 / 2.380 (cut off値 0.171)

使用キット: フレイザBSE(富士レビオ)
検査機関: 北海道石狩家畜保健衛生所

21例目 B S E 患畜の組織学的検査結果



病理組織学的検査の結果 (HE染色)

左上: 迷走神経背側核(矢印)。明らかな空胞形成は神経細胞内ならびに神経網に存在しない。

左下: 迷走神経背側核(強拡大)。

免疫組織学的検査の結果 (抗体: 44B1)

右上: 迷走神経背側核(矢印)。神経網に褐色に染まる陽性反応(異常プリオン蛋白質)の蓄積が検出される。

右下: 迷走神経背側核(強拡大)。